

# 町有公共建築物の耐震性能に係るリスト

東伊豆町

平成19年1月

# 目 次

- 1 . 公表の趣旨
- 2 . 公表の対象とする町有建築物
- 3 . 町有建築物の耐震性能の判定方法
- 4 . 町有建築物の耐震性のランク付け
- 5 . 町有建築物耐震性能リスト

総務課

企画調整課

住民福祉課

健康づくり課

建設産業課

観光商工課

教育委員会

消防署

## 1. 公表の趣旨

東伊豆町では、昭和54年に大規模地震対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域に指定されて以来、東海地震に対する建築物の安全性の確保に努めている。

平成15年5月29日の中央防災会議で倒壊地震対策大綱が策定され、同年7月29日に東海地震緊急対策方針が閣議決定された。その中で、東海地震発生時等の住民等の的確な対応を確保するためには、自宅だけでなく公共建築物の耐震性の把握が不可欠であることから、災害時の拠点となる学校、庁舎等の公共建築物について、耐震診断実施状況や実施結果をもとにした耐震性に係るリストを作成し、住民に周知するよう示された。

これを受け、本町が所有する公共建築物の耐震性能を公表する。

## 2. 公表の対象とする町有建築物

(1) 災害時の拠点となる建築物		施設名
ア	災害応急対策全般の企画・立案、調整、警戒、情報収集・伝達等を行う施設	庁舎、図書館、保健センター、消防署など
イ	住民の避難所として使用される施設	町立幼稚園園舎、小・中学校校舎、体育館
ウ	その他	いきいきセンターなど
(2) 多数の者が利用する建築物		公民館など
(3) 町営住宅		町営住宅
(4) その他重要な建築物		給食センターなど

## 3. 町有建築物の耐震性能の判定方法

(1) 旧基準の建築物(昭和56年5月31日以前に旧耐震基準で建築された建築物)

静岡県耐震診断判定基準(平成14年版)により判定した。耐震診断で( )で算出する構造判定指標(Is値)と静岡県が独自に策定した目標値(Et値)との比率(Is値/Et値)で耐震性能を判定した。

(財)日本建築防災協会「改訂版既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説及び「耐震改修促進法のための既存鉄骨造建築物の耐震診断及び耐震改修指針・同解説」による。

(2) 新基準の建築物(昭和56年6月1日以降に新耐震基準で建築された建築物)

静岡県構造設計指針・同解説(平成14年版)により判定した。本指針・同解説に定める用途係数(I)で耐震性能を判定した。

## 4. 町有建築物の耐震性能のランク付け

各ランク別の耐震性能と判定基準は表1のとおりである。旧基準の建築物は4段階(a、b、c、d)にランク分けし、新基準の建築物は2段階(a、b)にランク分けした。東海地震に対して耐震性能を有する建築物はランク a である。なお、建築基準法上で耐震性能を有するとされる建築物は、ランク a とランク b である。

表1 各ランク別の耐震性能と判定基準

ランク	東海地震に対する耐震性能		建築物の構造	本件独自の判定基準	
		備考欄		旧基準の建築物 (C =1.0)	新基準の建築物 (用途係数( ))
a	耐震性能が優れている建物。 軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。	災害時の拠点となりうる施設	R C S S R C C B	Is / ET 1.25	=1.25
			W	総合評点 1.5	
b	耐震性能が良い建物。 倒壊する危険性はないが、ある程度の被害を受けることが想定される。	建物の継続使用の可否は、被災建築物応急危険度判定士の判定による。	R C S S R C C B	Is / ET 1.0	=1.0
			W	1.0 総合 評点 < 1.5	
	耐震性能がやや劣る建物。 倒壊する危険性は低い、かなりの被害を受けることの想定される。		R C S S R C C B	Is / ET < 1.0 かつ Is 0.6	
			W	0.7 総合 評点 < 1.0	
	耐震性能が劣る建物。 倒壊する危険性があり、大きな被害を受けることが想定される。		R C S S R C C B	Is / ET < 1.0 かつ Is < 0.6	
			W	総合評点 < 0.7	

(注1) 体育館など、比較的屋根の軽い鉄骨造の建物は、ランクにかかわらず倒壊する危険性は低い。

(注2) 壁式コンクリート造(WRC)の中高層建築物の町営住宅は、地盤が良好で公営住宅建設事業者等、連絡協議会の耐震診断マニュアルで安全が確認できればランク bとする。

用語説明

指標値等	
耐震性能	建築物が保有する地震に抵抗する能力
構造耐震指標 ( S値 )	建築物が保有する耐力を表わす指標 (耐震診断で算定)
静岡県の耐震判定指標 ( ET値 )	東海地震に対して安全性を確保するための建築物が保有する耐力の目標 ET = ES × C × CG ES : 基本耐震指標値 CG : 地形指標 がけ地等の場合 1.25 その他の場合は 1.0
用途係数 ( )	建築物の用途により地震力を割り増す係数 =1.25 の場合 ランク a =1.0 の場合 ランク b
建築物の重要度係数 ( C )	地震による建築物の破壊を抑える程度を表わす係数 C = 1.25 の場合 地震時に軽微な被害にとどめ継続使用を可能とする C = 1.0 の場合 地震時に倒壊せずある程度の被害にとどめる
総合評点	木造建築物が保有する耐力を表わす指標 (耐震診断で算定)
建築物の構造	
R C	鉄筋コンクリート造 (鉄筋コンクリート造の中には、町営住宅で採用されている特殊な構造として、壁式鉄筋コンクリート造(WRC)と壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造(WPC)がある)
S	鉄骨造(軽量鉄骨を使用する場合は軽量鉄骨造(LS)とする)
S R C	鉄骨鉄筋コンクリート造
C B	コンクリートブロック造
W	木造

## 東伊豆町が所有する公共建築物の耐震性能に係るリスト

施設数	棟数	所管担当課	建築物			場所	ランク	建築年 (西暦)	旧:旧基準 の建築物 新:新基準 の建築物	構造・階数		Is値 (又は総 合評点)	ET値 (CI=1)	Is値 /ET値	備考欄
			施設名	棟名	棟番号					構造	階数				
1	1	総務課	田町防災コミュニティセンター	公民館		稲取352-1	I b	1984	新	SRC	3				田町区公民館
2	2	企画調整課	東伊豆町役場庁舎	事務所		稲取3354	I b	1984	新	RC	5				
3	3	"	アスト会館	研修所		白田1652-1	III	1969	旧	RC	6	0.24	1.25	0.19	H15耐震診 H16計画策定 売却予定
4	4	住民福祉課	東伊豆町いきいきセンター	集会所		稲取410-1	I b	2003	新	S	1				
5	5	"	町営住宅	1		稲取3014-4	I b	1973	旧	WRC	3	1.00	1.00	1.00	県営住宅と同等判断
6	6	"	"	2			I b	1974	旧	WRC	4	1.00	1.00	1.00	県営住宅と同等判断
7	7	"	"	3			I b	1974	旧	WRC	4	1.00	1.00	1.00	県営住宅と同等判断
8	8	"	"	A		奈良本1296-14	I b	1976	旧	WRC	4	1.00	1.00	1.00	県営住宅と同等判断
9	9	"	"	B			I b	1976	旧	WRC	4	1.00	1.00	1.00	県営住宅と同等判断
10	10	"	湯ヶ岡公民館	公民館		白田943-1	I b	1985	新	RC	2				
11	11	"	東伊豆町最終処分場	管理棟		稲取3346-1	I b	1993	新	RC	2				
12	12	健康づくり課	保健福祉センター			白田270	I b	1995	新	RS	3				
13	13	"	アスト会館	体育館		白田1652-1	III	1980	旧	S	2	0.19	1.25	0.15	H15耐震診 売却予定
	14	"	"				II	1980	旧	RC		0.88	1.25	0.70	H15耐震診 売却予定
14	15	建設産業課	稲取ふれあいの森管理事務所	研修所		稲取3018	I b	1987	新	W	1				
15	16	"	"	資料館			I b	1986	新	RC・W	2				
16	17	"	奈良本地区多目的研修会施設	公民館		奈良本252-1	I b	1987	新	RC	1				
17	18	観光商工課	熱川湯の華ばあーく	資料館		奈良本966-13	I b	2002	新	W	1				

RC(鉄筋コンクリート造)、SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)、S(鉄骨造)、CB(コンクリートブロック造)、w(木造)、WRC(壁式鉄筋コンクリート)

## 東伊豆町が所有する公共建築物の耐震性能に係るリスト

施設数	棟数	所管 担当課	建築物			場所	ランク	建築年 (西暦)	旧:旧基準 の建築物 新:新基準 の建築物	構造・階数		Is値 (又は総 合評点)	ET値 (CI=1)	Is値 /ET値	備考欄
			施設名	棟名	棟番号					構造	階数				
18	19	教育委員会	稲取小学校	校舎	1-1	稲取614-1	II	1970	旧	RC	4	0.89	1.25	0.71	S58耐震補強 再耐震補強未定
	20	"	"		1-2		II	1970	旧	RC	4	0.89	1.25	0.71	S58耐震補強 再耐震補強未定
19	21	"	"	体育館	1F		I a	1976	旧	RC	2	2.10	1.25	1.68	H21耐震補強済
	22	"	"		2F		I a			R		1.70	1.25	1.36	
20	23	"	稲取中学校	校舎	1	稲取1873	II	1955	旧	RC	3	0.93	1.25	0.74	
	24	"	"	校舎	1-2		II	1978	旧	RC	3	0.84	1.25	0.67	H17耐震診 再耐震補強未定
	25	"	"	校舎	1-3		I b	1985	新	RC	4				
21	26	"	"	体育館			I b	1998	新	RC	2				
22	27	"	熱川小学校	校舎	1	奈良本777-1	II	1974	旧	RC	4	0.97	1.25	0.78	S59耐震補強 再耐震補強未定
	28	"	"	校舎	1-2		II	1975	旧	RC	4	0.97	1.25	0.78	S59耐震補強 再耐震補強未定
	29	"	"	校舎	2		II	1975	旧	RC	2	0.91	1.25	0.73	S59耐震補強 再耐震補強未定
	30	"	"	校舎	3		II	1975	旧	RC	3	0.91	1.25	0.73	S59耐震補強 再耐震補強未定
23	31	"	"	体育館		I a	1977	旧	S	2	1.65	1.25	1.32	H14耐震補強	
24	32	"	熱川中学校	校舎	1	奈良本1296-3	II	1964	旧	RC	3	0.90	1.25	0.72	S57耐震補強 再耐震補強未定
	33	"	"	校舎	2		I b	1982	新	RC	3				
25	34	"	"	体育館			I b	2000	新	S	2				
26	35	"	大川小学校	校舎		大川312	I b	1979	旧	RC	3	1.29	1.25	1.03	H14耐震補強
27	36	"	稲取幼稚園	園舎		稲取1569-6	I a	1980	旧	RC	2	1.40	1.25	1.12	H17耐震補強
28	37	"	熱川幼稚園	園舎		奈良本777-1	I a	2008	新	S	1				H20新築
29	38	"	大川幼稚園	園舎		大川312	I b	1979	旧	RC	1	1.29	1.25	1.03	H14耐震補強

RC(鉄筋コンクリート造)、SRC(鉄骨鉄筋コンクリート造)、S(鉄骨造)、CB(コンクリートブロック造)、w(木造)、WRC(壁式鉄筋コンクリート)

## 東伊豆町が所有する公共建築物の耐震性能に係るリスト

施設数	棟数	所管 担当課	建築物			場所	ランク	建築年 (西暦)	旧:旧基準 の建築物 新:新基準 の建築物	構造・階数		Is値 (又は総 合評点)	ET値 (CI=1)	Is値 /ET値	備考欄
			施設名	棟名	棟番号					構造	階数				
30	39	教育委員会	東伊豆町立体育センター	体育館		稲取3349-4	I b	1986	新	SRC	2				
31	40	"	東伊豆町立図書館	庁舎		奈良本908-8	I b	1992	新	RC	2/1				
32	41	"	東伊豆町立学校給食センター	庁舎		稲取3350-1	I b	2000	新	S	2				
33	42	消防署	東伊豆町消防庁舎	庁舎		稲取17-10	I b	1983	新	RC	2				
	43	"	東伊豆町消防庁舎	庁舎			I b	1993	新	S	2				
	44	"	東伊豆町消防庁舎	庁舎			I b	1999	新	S	2				増築分
34	45	"	東伊豆町第1分団器具置場	詰所		大川478-2	I a	2009	新	S	2				H21新築
35	46	"	東伊豆町第3分団器具置場	詰所		奈良本268-10	I b	1991	新	RC	2				
36	47	"	東伊豆町第5分団器具置場	詰所		稲取2920-6	I b	1990	新	RC	2				
37	48	"	東伊豆町第6分団器具置場	詰所		稲取214-2	I b	1987	新	RC	3				
38	49	"	東伊豆町第8分団器具置場	詰所		稲取896-8	I b	1989	新	RC	2				
39	50	"	東伊豆町第9分団器具置場	詰所		白田431	I b	1985	新	RC	2				
							I a	6	県基準を満たしているもの						
							I b	32							
							II	10	国基準を満たしているもの						
							III	2							